

企画展

『南アルプス展～北極とヒマラヤが出会う場所～』

日時 2018年6月16日(土)
～9月24日(月・休)

南アルプスには、世界で最も南に住むライチョウや高山植物などが生息する一方で、ふもとまで常緑広葉樹林が広がっており、北から来た生物と南から来た生物が出会う場所でもあります。本企画展では、南アルプスの成り立ちとそこに生息する生物たちを紹介し、南アルプスの今と未来を考えます。



場所 企画展示室1・2 ※常設展観覧券でご覧いただけます。

企画展

『第一回ミュージアム写真展』

日時 2018年10月6日(土)
～10月28日(日)

作品募集期間 2018年8月26日(日)まで

「私が百年後に残したい“ふじのくに”～静岡のひとと自然～」、「私が見つけた静岡の自然」をテーマに撮影された応募写真の中から、入選作品を展示します。



場所 企画展示室1・2 ※常設展観覧券でご覧いただけます。

ミュージアムでは、大人も楽しめる教養講座や子ども向けの体験講座を開催しています。本紙で紹介している以外にも沢山のイベントを用意しています。詳しくはホームページをご覧ください。

申込方法 ※全てのイベント参加には、常設展観覧券の購入が必要です。
※予約が必要な講座につきましては、ホームページ(www.fujimu100.jp)をご覧ください。

連続講座「天地に在りて、道を究める」(公財)はごろも教育研究奨励会助成事業

～いのちといのちを結び和し、共栄共存を願うありかた～
文化・芸術・スポーツなど各界の第一人者をゲストに迎え、御自身のライフスタイルや持続可能な社会実現の鍵となる他者を慈しむ心のあり方について、お話をいただいています。聞き手は、当館の客員教授であり、歌人の田中章義氏が務めます。

【第13話】

日時 2018年9月8日(土)
14:00～15:10

ゲスト 葉 祥明
画家

テーマ 地雷ではなく
花をください



定員 100名 場所 講堂
申込方法 インターネットまたは往復はがき
※締切日 8月23日(木)

「オムニバス授業」“地球環境史学” (公財)はごろも教育研究奨励会助成事業

地球科学や生物科学の分野の第一線で活躍する研究者をお招きして、専門分野における最先端の研究成果をわかりやすく、深く、面白く、オムニバス形式でお伝えしています。
ふじのくに地球環境史ミュージアムで、自然と人の暮らしの過去、現在、未来を考えてみませんか。

【第6回】

日時 2018年8月26日(日)
14:00～15:30

ゲスト 真鍋 真
国立科学博物館
標本資料センター ディレクター

テーマ 「恐竜学」最前線



定員 100名 場所 講堂
申込方法 電話または
E-mail(info@fujimu100.jp)

サマーナイトミュージアム

日時 2018年8月11日(土)・25日(土)
18:30～21:00 (最終入館は20:30)

観覧料 一般・500円
小学生～大学生、70歳以上・200円

大好評のサマーナイトミュージアムを今年も開催します。25日には、幻想的な美的演出、リキッドアートが楽しめます。この機会に、ぜひお来館ください。



リキッドアートの様子

MUSEUM DIARY

“ミュージアムのいま”をお伝えする、ミュージアムダイアリーです。

2018.3.21-2018.5.27 企画展「ミュージアムキャラバン展」

大人気の出張展示、ミュージアムキャラバンの「化石の世界」「魚の世界」を展示しました。普段は県内の学校や商業施設を巡回しており、館内で展示されるのは期間限定であるため、連日、多くのお客様がご来館くださいました。ミュージアムキャラバンは、夏休み期間中、以下の日程で各地へ巡回していますので、ぜひお近くの会場へお越しください。

昆虫の世界

日時 2018年7月25日(水)～8月6日(月)
場所 静岡県静岡総合庁舎

日時 2018年8月9日(木)～8月29日(水)
場所 つま恋リゾート彩の郷

化石の世界

日時 2018年7月31日(火)～8月8日(水)
場所 イオンモール浜松志都呂

日時 2018年8月11日(土)～8月27日(月)
場所 静岡県富士山世界遺産センター

魚の世界

日時 2018年7月21日(土)～8月15日(水)
場所 掛川花鳥園

日時 2018年8月18日(土)～9月2日(日)
場所 富士山環境交流プラザ



企画展開催の様子



イオンモール浜松志都呂での開催の様子(2018年1月)

2018.4.7 「連続講座」“天地に在りて、道を究める”【第10話】

ゲスト 岡田 武史 元サッカーW杯日本代表監督
日本サッカー協会副会長 FC今治オーナー
テーマ 未来に生きる子供達へ

環境問題やこれからの社会のあり方に関してお話いただきました。「今できることや物の豊かさより、心の豊かさを。」というメッセージには、未来の子供達に対する岡田さんの思いが込められていました。また、サッカー日本代表監督時代の苦労や裏話、FC今治のオーナーという経営者の立場でのお話も聴くことができました。



2018.6.10 「シーチキン号」ミュージアムに登場

シークレットイベントとして、はごろもフーズ株式会社の特別車両「シーチキン号」が、ミュージアムにやってきました。一般公開としては当館が第一号となり、シーチキン缶のオリジナルパッケージ製作や、限定ガチャガチャを実施致しました。シーチキン誕生60周年を迎えた同社と、開館3年目に突入した当館がコラボした、素敵なイベントとなりました。



2018.5.13 「連続講座」“天地に在りて、道を究める”【第11話】

ゲスト 穴戸 開 俳優・写真家
テーマ 旅の魅力

穴戸さんが旅先で見たこと、味わったことなど、五感を通して感じられたことを、ユーモアを交えながらお話いただきました。世界を旅されているからこそ見えてくる、日本人特有の感覚や、島国故の、小さいところに密集して安心感を得たいという、民族性を指摘されるなど、日本人としての生き方を見つめ直す貴重な機会を提供していただきました。



2018.6.17 「オムニバス授業」“地球環境史学”【第5回】

ゲスト 遠藤 秀紀 東京大学総合研究博物館 教授
テーマ 動物の身体から探る5億年の進化

遠藤教授は、一般向けの普及書等も多く手掛けられており、お客様は4歳児から年配の方まで様々でした。お話は、大人が存分に楽しめる話題を子どもにもわかるように配慮しつつ、おだやかな語り口で、時にお客様の間を歩きながら、語りかける独特な講演スタイルで、全てのお客様を魅了する極上の知的エンターテインメントとなりました。同時に、動物に対する、遠藤教授の情熱・愛情が、強く感じられた講演となりました。



※「連続講座」“天地に在りて、道を究める”及び「オムニバス授業」“地球環境史学”は、(公財)はごろも教育研究奨励会の助成により実施しています。